

第7回山口県緩和ケアチーム研修会報告書

山口大学医学部附属病院
緩和ケアセンター事務局

開催概要

開催日時：令和7年8月21日(木)18:00~20:00

主催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター

後援：山口県健康福祉部医療政策課

開催形式：Web会議システムによるオンライン開催

参加施設：国立病院機構岩国医療センター

山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

地域医療機能推進機構徳山中央病院

山口県立総合医療センター

国立病院機構山口宇部医療センター

山口県済生会下関総合病院

医誠会都志見病院

山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院

山口大学医学部附属病院

受講者数：28名(医師4名、心理師3名、看護師11名、薬剤師3名、管理栄養士2名、MSW4名、診療情報管理士1名)

プログラム

開会挨拶 山口県健康福祉部医療政策課 池田 淳

18:00~18:30 特別講演「がんと仕事とお金」

山口大学医学部附属病院 患者支援センター MSW 高砂 真明 先生

MSW 高岡 あさひ 先生

18:30~19:20 グループディスカッション

19:20~19:25 休憩

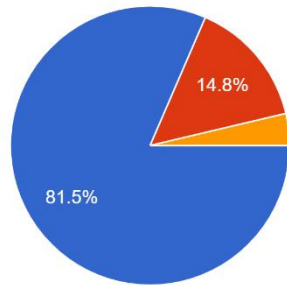
19:25~20:00 発表・まとめ

閉会挨拶 山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 山縣 裕史

アンケート

①この研修に参加して良かったですか

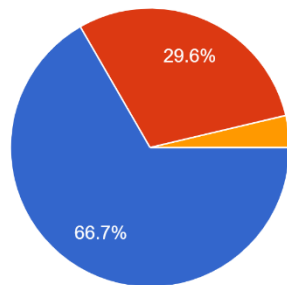
27件の回答



- よかった
- おおむねよかった
- あまりよくなかった
- よくなかった

②この研修会で得たことは今後の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟での活動に役立ちますか

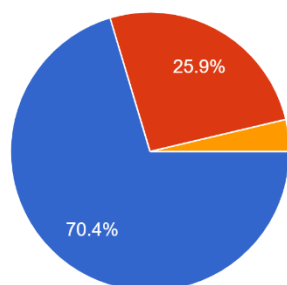
27件の回答



- よかった
- おおむねよかった
- あまりよくなかった
- よくなかった

③特別講演はいかがでしたか

27件の回答



- よかった
 - おおむねよかった
 - あまりよくなかった
 - よくなかった
-

緩和ケアチーム研修会で取り上げてほしいテーマや内容についてお聞かせください。

- ・心理的安全性について
- ・終末期の鎮静について
- ・緩和ケアを広めるための県や市の現在の取り組み
- ・がん患者スクリーニングの現状、精神腫瘍医の専門的な活動、心理士の活動などをお願いします。
- ・多職種間（他施設間も含む）でのコミュニケーションについて いろんな方とお話できる機会があれば…
- ・がん疼痛への多職種対応と薬剤調整
- ・就労支援がテーマでしたが、傷病手当や高額療養費制度について理解が不十分ですので、また取り上げて頂けると助かります。
- ・就労支援で社労士さんや産業保健総合支援センターの人の話が聞いてみたいです。
- ・症状（がん患者）スクリーニングとその活用について各施設の現状と課題、活動などについて意見交換を行うのはどうでしょうか。
- ・非がん患者に対して各施設での関わり方を発表して共有し、自施設でどう関わっていくかをディスカッションして発表
- ・身寄りのない人への支援
- ・意思決定支援、ACP
- ・各施設での緩和ケアにおける栄養管理の取り組み
- ・子供への対応、親の病気をどのように伝えるか、学校等との連携
- ・終末期の患者さんとのコミュニケーション、接遇
- ・緩和ケアと言葉（ことば）に関するテーマ
- ・チームのありかたについて。活動していても患者さんのためになっている感が乏しいです。何しに来たといわんばかりの対応を今でも受けることがあります。チームの形態や、どこまで強権を持っているかでも異なるとは思いますが、今いちど考えてみたいので。
- ・山大でのがん遺伝子パネル検査の現状について ・臨床心理士の介入について（当院にはまだ心理士がいないので、事例も含めて介入を知りたいです）
- ・終末期患者のせん妄の対応、各施設でどのようにACPを進めているか
- ・症状コントロールをテーマに学びを深めたい
- ・症例検討
- ・事例検討

- ・意思決定の書式の標準化について 他院の事例を多く紹介して欲しいです。テンプレートも含めて。
- ・在宅療養へつなげるための支援について
- ・倫理的課題について、難治性疼痛の神経ブロックについて

緩和ケアチーム研修会のご感想や、ご要望についてお聞かせください。

- ・GW は多職種の実践的な意見が聞けてよかったです。またやってほしい。
- ・2時間の設定、勤務後の研修、始まる前は負担を感じていました。一方で、グループワークでは、普段の視点とは違った視点で考える機会が頂け、大変勉強になりました。
- ・色々な制度や社労士の役割、グループワークでの実際の活動を聞く機会になり大変勉強になりました。
- ・他施設の多職種の方とお話することでとても勉強になりました。また日頃のケアの振り返りにもなりました。今後は他スタッフの参加も促していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・まだチームに参加させて頂いて間もないため、他施設のどんな方が従事しているのかも分からなかったのが、大変良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・開催していただき、ありがとうございました。
- ・オンラインでのグループワークは、発言の間や空気感などが分かりづらいため、対面のほうが良いと思った。
- ・大変勉強になりました。久しぶりに緩和ケアチーム研修会でグループワークをして有意義でしたが、対面の方がいいと思いました。
- ・グループワークを通して他職の方の考えや役割がわかりとても意義のある研修でした。可能であれば同職種とも話がしてみたかったです。
- ・最初にグループワークの時間を何時までするのかを伝えてほしかった。
- ・内容が内容だけに職種によっては難しかったような感じてした。
- ・不慣れで最初は緊張しましたが、司会の方が上手にまとめてくださり、皆さんが活発に意見を出しておられ、とても良い雰囲気に参加することができました。他職種それぞれの視点から意見が聞け、大変勉強になりました。
- ・今回、開催時間の関係もあり、グループワークに参加しなかった。他の施設の方々は参加できているのに、当院は参加できなかったのはなぜか、考えてみたい。
- ・いつも企画、開催をありがとうございます。
- ・グループワークは大変勉強になりました。一方で、「仕事とお金」という視点のその時点での問題と課題と捉えディスカッションをしたので、あまり深く多角的な視点で話しあうことが出

来きず、不消化なところもありました。もっと全人的苦痛の視点で話し合いが出来たら、偏った内容にならなかったのかもしれないと思います。

- ・今回の研修の事例検討は、多職種の意見、それぞれの施設での対応の話聞くことができ
学びが多い研修でした
- ・PCを共有して、ロール等に参加できるようにして欲しいです。グループで参加したいと思
います。PCの環境が悪いので。
- ・接続が不安定でご迷惑おかけしました。迅速に対応していただき助かりました。ありがとうご
ざいます。
- ・回答が遅くなり申し訳ありません。グループワークは多職種の視点から検討でき、実践に活
かせる学びに繋がりました。